

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 4 枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>令和6年度当初予算について 夢と希望の抱ける予算の具体化について</p> <p>昨年12月定例会での私の質問に対し「将来の加賀市に夢と希望を抱いていただける、思い切った予算編成を行いたい」との表明があり期待していたが、当初予算において、こうした意気込みがどのように実践、具体化されているのか。</p>	
	(2)	<p>年間総合予算編成の判断について</p> <p>令和6年能登半島地震に伴い、石川県や能登地区の多くの市町が骨格予算としている中、加賀市はどのような判断で年間総合予算としたのか。</p> <p>また、加賀市でもこの地震対応で忙殺されたと思うが、目玉事業や新規施策をはじめ、予算の検討、議論に十分な時間をかけることができたのか。</p>	
	(3)	<p>今後の財政の備えと運営方針について</p> <p>令和6年度末の財政調整基金残高は約5億3,000万円となるが、監査委員が確保すべきとする18億円、加賀市中期財政計画の数値目標9億円を下回っており、心配である。また、重点事業推進基金は1億円を切る状況であることも踏まえ、財政の基本的な備えをどうするのか。</p> <p>さらに、それを踏まえた財政運営方針の方向性を聞く。</p>	
2	(1)	<p>加賀温泉駅南地区開発構想について 市の役割について</p> <p>株式会社長工との「官民連携に関する協定」では開発事業計画に対し、市の意向を取り入れていくような記述がないが、開発の全てを事業者任せにしてしまうと円滑な事業展開が図れない恐れや、市が描くイメージと異なるエリアが形成される可能性が懸念される。そこで、構想、開発事業の推進に当たって、市が掲げる方向性との連携など、市の役割をどのように捉えているのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全4枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	<p>① 周辺インフラとしての計画的な道路整備について 商業エリア周辺の道路整備について 国道8号からのアクセスとして想定される県道 147 号片山津山代線や市道C第 248 号線は時間帯により混雑しており、商業施設オープン後は渋滞が予想される。現在、商業エリア周辺道路の交通量調査や将来交通量の推計などを行っているが、国道8号から開発エリアまでの道路計画について問う。</p>	
		<p>② 市道C第 463 号線の整備について 商業エリア開発を見据え、分校町、箱宮町への市道C第 463 号線の4車線化を提案する。加賀市医療センターや消防本部などへのアクセス道路であり、加賀市地域防災計画の緊急輸送道路でもあるが、通勤時間帯や土日に加賀温泉駅東口交差点付近で渋滞が発生しており、国道8号の代替道路としても4車線化の必要性が高まると考える。 昨年12月定例会の同僚議員には「将来の交通量の変化などを見極めながら判断する」との答弁だったが、現時点からしっかり取り組むべき事業であると考えており、改めて所見を問う。</p> <p>③ 推進体制について これらの整備は事業規模が大きいことから、例えば、市道C第 463 号線を大聖寺道路の延伸として県道に格上げし、これに商業エリア周辺道路を巻き込む形で県の事業として整備できないのか。期成同盟会の立ち上げも視野に入れて推進体制を検討すべきと考えるが、見解を問う。</p>	
	(3)	<p>① 第Ⅱ期開発の戦略について 市役所の立地を呼び水とした戦略について 将来の第Ⅱ期開発に、老朽化している市役所の次期建設予定地とするといった目標や方向性を打ち出し、これを呼び水として都市機能や公共施設、先進的なスタートアップ事業者を含めた産業の集積を図るといった戦略が考えられないか。 加賀温泉駅を中心とした都市機能の再配置、人口減少時代を見据えたコンパクトシティへの流れにもつながるのではないかと思うが、見解を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨

(3枚目/全4枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号		②	発言事項及び発言要旨	備 考
		②	<p>水泳プールの立地場所検討について</p> <p>先の定例会での水泳プールを未来型商業エリア周辺に立地する議論は先ほどの提案にも合致すると考えるが、水泳プールの整備予算は当初予算で計上されていない。昨年9月補正で調査費を計上し、「未来型商業エリア周辺での整備も含めて、最適な場所を検討していきたい」との答弁であったが、検討状況について問う。</p>	
3	(1)		<p>新交通体系の構築について</p> <p>乗合タクシー高度化（AIオンデマンド）事業について</p> <p>「AIを活用し、乗合タクシーの時刻表を廃止して、マイカーの代替となるモビリティサービスを提供」としているが、具体的にイメージしづらいので、私の住む動橋町から山中温泉共同浴場菊の湯へ行く場合を例として、どのようにして、どのようなサービスを受けられるのか。具体的な内容をこれまでと比較して説明せよ。</p> <p>令和6年度は実証実験としているが、本格導入の見通しとスケジュールも聞く。</p>	
	(2)		<p>加賀市版ライドシェアについて</p> <p>実証運行が先月スタートしたが、北陸新幹線加賀温泉駅開業に間に合わせる形での運用開始を評価したい。そこで、この事業の仕組みと概要の説明を願うとともに、実証運行を始めてみての手応えや見えてきた課題とその対応について聞く。</p>	
4	(1)		<p>防災、災害対応の備えについて</p> <p>加賀市災害廃棄物処理計画の見直しの必要性について</p> <p>市では加賀市災害廃棄物処理計画を策定し、地震で発生するがれきは約43万トンと推計している。今回、県が推計する総量約240万トンとの比較は難しいが、「輪島市の独自推計は県推計値の2倍になった」との報道もあったことから、今回の地震を踏まえて推計値の見直しの必要性はないのか。</p> <p>また、本計画では、がれきの仮置場として「約21ヘクタールが必要」としているが、場所の選定基準の記述に留まり、設置場所を明示していない。早急に具体的な想定をしておくべきではないか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (4枚目/全4枚)

氏 名 川 下 勉

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(2)	<p>上下水道の管路耐震化の加速について</p> <p>能登地区では断水の被害は長期化し、上水道が復旧しても、下水道管路の破損などで下水が流れない地域もある。断水の回避のため、上下水道の耐震化を加速するべきと考えるが、加賀市における上水道、下水道の管路耐震化の現状、また、今後の整備方針について聞く。</p>	
(3)	<p>仮設住宅場所の事前選定や仮設トイレの事前発注などの備えについて</p> <p>大規模、広域災害では発注が遅いほど対応が困難になると思われる。そこで、仮設住宅の場所の選定や諸条件の調査、事前整備を行う必要はないか。</p> <p>また、仮設トイレなどは多少のコストが生じても、例えば、有事の際に優先的に確保できるように事前発注を行うなどの備えが大切ではないか。</p>	